



年の瀬も間近になるなか、『年忘れ餅つき大会』が、十二月二十八日行われました。今年最後の催しです。体育館に大勢集まったところで、まずは利用者皆さんから今年の楽しかった思い出や来年の抱負を語ってもらいました。和やかなムードで振返りをしたところで、いよいよ本番。餅つきが開始となると、女性も男性も我先にと杵を手に取り、臼に向かって力強く餅をついてくれました。威勢よく放たれた「よいしょー」の掛け声も体育館いっぱい響き渡り、活気づけてくれました。渾身の作となって出来上がったふかふかのお餅。「すぐに食べたいー」と思った方もいらしましたが、「こはひとまず正月用の鏡餅にして玄関へ飾ることになりました。また、今年度より餅つきは『忘年会』と同時開催。風食には高菜・ゆかりご飯、お刺身に折り詰め、そして花麩と三ツ葉のすまし汁が振る舞われ、皆さん美味しく頂きました。



今年最初の催しとして一月十七日に『新年会』が行われました。午前中はアトラクションとしてカラオケ大会です。利用者からの特別審査員も加わり少し緊張の面持ちも。しかしひと度マイクを握り歌い始めれば一転、日頃カラオケクラブで鍛えた歌声を發揮して、各々の十八番を熱唱してくれました。また、風食にはお刺身、お雑煮といったご馳走で会食を楽しみました。会食の途中、職員による獅子舞披露の演出もありました。突然の獅子の乱入に驚きの歓声が。獅子となった職員は歯を力チ力チ鳴らしながら飛んだり跳ねたりと軽やかな動きで盛り上げてくれました。厄払いに頭を噛んでもらおうと自ら進んで頭を差し出す方もいられたようです。これにより今年も「無病消息」で過ごすことが出来そうです。

年忘れ餅つき大会 (十二月二十八日)

新年会 (一月十七日)

# かしわ荘だより

## 第46号

社会福祉法人

柏崎刈羽福祉事業協会

救護施設かしわ荘

柏崎市大字畔屋 194 番地 1

電話 24-4101

FAX 24-4102

<http://www.kashikari-fukushi.com>

.com

年3回発行

### かしわ荘の通所事業



かしわ荘では施設内の一角を使って、保護施設通所事業を行っています。現在四名の方が利用しております。

通所の日課には作業活動の時間があり、外部からの作業依頼も請け負っています。そのおかげで様々な作業に取り組むことが出来ており、現在は缶バッジ製作、薬湯用松藤チップのカット、広域観光マップのシール貼りを主な作業としています。通所の利用者だけでなく、施設入所の利用者も自立支援の一環で作業に加わることもあります。皆さんやりがいを持って取り組んでいます。



広域観光マップシール貼り

シール貼り作業では、手先に集中するようにしています。折ったり破いたりしないよう気をつけています。



薬湯用松藤チップのカット

乾燥した松藤の弦を職員が薄く輪切りにし、それを利用者の方たちが剪定用のはさみでさらに細かいチップにしています。

## 節分について (二月三日)



二月三日にかしわ荘で豆まきをしました。午後になると「鬼は外！福は内！」と元気な声を上げながら、お面を被った職員と有志数名の男性利用者が各フロアを回りました。みんなで鬼をめぐらせて、豆に見立てた新聞紙のボールを元氣よく投げて、無事に鬼退治に成功！最後に鬼の格好をした職員や利用者で集合写真も記念にパシャリ、皆さんとてもいい笑顔を見せてくれ行事を楽しみました。感想を聞くと「楽しかった」と鬼退治に満足げな表情を見せてくれました。

節分には、「鬼は外（邪を払い）、福は内（幸せを呼び込む）」という厄払いの意味があるようですが、利用者の皆さんに幸せが訪れることを願います。



## 消防署救命講習について



三月七日施設内において普通救命講習Ⅰ（心肺蘇生）の講習が行われました。

はじめに、救命処置における「救命の連鎖」についての説明があり、心停止の予防・早期認識と通報・一次救命処置・二次救命処置と集中治療の4つの輪からなっており、その四つの輪がスムーズに繋がることで救命の効果が高まるということでした。

続いて、実技講習では、傷病者を発見してから救命処置を行うまでの一連の流れを行いました。いざ実技となると戸惑う場面もあり、改めて緊急時の対応について自分の意識が足りていなかったことを再認識することができました。

また、自分がその場に立ち会っても迅速かつ適切な対応を行い救命の連鎖を繋げられるように、普段から緊急時の対応について意識することが大切であると感じました。



## 冬の降雪について

数年に一度とされる強烈な寒気の襲来により、平野部である柏崎市も今年は大変な大雪に見舞われました。特に二月の上旬頃には、二十四時間の降雪量が六十九センチと全国一を観察する日もあったほどです。施設周辺も例年にならない積雪で、例年とはまた違う冬景色となりました。そして、連日にわたっての除雪作業。非常口や駐車場確保は、職員も大変苦労したところです。

いま、ようやく辺りの雪も解け春の気配を感じるようになりました。

暖かい春の到来が待ち遠く、新たに迎える春に期待したいところです。



## 編集後記

当紙『かしわ荘だより』にて、平成二十九年度の新年度体制についてご紹介したばかりと思っておりましたが、いつのまにか今年度も終わりが近づいてまいりました。当初の予定通り、年三回『かしわ荘だより』の発行を無事済ませることができました。広報担当としてはひとまず安心して居るところです。地域の皆さまにとって、かしわ荘がより身近な施設に感じていただくことができるよう、読みやすく、わかりやすい広報紙づくりにいっそう努めていきたいと思えます。（広報担当：山本）